

## 学会記事

**【第17回総会】**（2024年6月29日，筑波大学春日エリア7A棟1階105教室 出席者33名）

呉羽正昭庶務委員長の開会の辞のあと，平井誠会員を議長に選出した。佐藤大輔庶務委員に書記を委嘱し，総会を開始した。

### 1. 2023年度会務報告について（期間：2023年4月1日～2024年3月31日）

松井圭介常任委員長より，会員総数（2024年6月20日現在，383名），第16回大会（2023.7.1）の開催（つくば国際会議場，参加者77名），機関誌「地理空間」の刊行（第16巻1～3号，展望1編，会長講演1編，地理資料4編，書評，学会記事等掲載），地理空間掲載論文のJ-STAGE登載，若手研究者への助成，ニューズレター発行（第37号（2023.6）），ホームページ・メーリングリスト（jags-ml）の運営，日本学術会議協力学術研究団体（2013年9月24日から），2024年度学会賞選考結果について報告があった。

[地理空間学会学会賞]

<特別賞>

該当なし

<学術賞>

受賞者：Ronald C. ESTOQUE ロナルド・カネーロ・エストケ

受賞対象：

森林植生変動および地球環境の持続性に関する下記7点の国際誌筆頭論文

Estoque, R.C., *et al.* Has the IPCC's revised vulnerability concept been well adopted? *Ambio*, 52, 376–389, 2023.

Estoque, R.C. Complexity and diversity of nexuses: A review of the nexus approach in the sustainability context. *Science of The Total Environment*, 854, 158612, 2023.

Estoque, R.C., *et al.* Climate impact chains for envisaging climate risks, vulnerabilities, and adaptation issues. *Regional Environmental Change*, 22, 133, 2022.

Estoque, R.C., *et al.* Spatiotemporal pattern of global forest change over the past 60 years and the forest transition theory. *Environmental Research Letters*, 17, 084022, 2022.

Estoque, R.C., *et al.* Rethinking forest monitoring for more meaningful global forest landscape change assessments. *Journal of Environmental Management*, 317, 115478, 2022.

Estoque, R.C., *et al.* Monitoring global land-use efficiency in the context of the UN 2030 Agenda for Sustainable Development. *Habitat International*, 115, 102403, 2021.

Estoque, R.C., *et al.* Remotely sensed tree canopy cover-based indicators for monitoring progress towards global sustainability and environmental initiatives. *Environmental Research Letters*, 16, 044047, 2021.

＜奨励賞＞

該当なし

2. 2023年度決算報告・監査報告について

山下亜紀郎会計委員長より2023年度の一般会計および特別会計の決算案が提示され、その収支について山下清海会計監査、村山祐司会計監査より適正であると承認したことが報告された。2023年度決算案は異議なく承認された。

3. 2024年度事業計画案について

松井圭介常任委員長より2024年事業計画について、機関誌「地理空間」第17巻1号(2024.6.20)、第17巻2号(2024.12.20)、第17巻3号(2025.3.31)の刊行、第17回大会の開催(2024年6月つくば市)、第18回大会の開催計画(2025年場所未定)、例会の開催、巡検の開催、学会賞や若手研究者助成による研究奨励、ニューズレターの発行(発表要旨特別号の発行を含む)、ホームページ・メーリングリストの管理・運営が提案された。

2024年度事業計画案は異議なく承認された。

4. 2024年度予算案について

山下亜紀郎会計委員長より、2024年度予算案について、収支と支出に関する説明がなされた。2024年度予算案は異議なく承認された。

5. 役員・専門委員会の構成について

松井圭介常任委員長より役員および専門委員会(2024年7月1日～2026年6月30日)の構成員について提案がなされた。役員及び専門委員会構成員は異議なく承認された。

2024～2025年度役員(2024年7月1日～2026年6月30日) 下線は新規

会 長：丸山浩明(立教大)

会計監査：村山祐司(筑波大名誉)、山下清海(筑波大名誉)

常任委員：松井圭介(常任委員長、筑波大)、呉羽正昭(庶務委員長、筑波大)、山下亜紀郎(会計委員長、筑波大)、森本健弘(集会委員長、筑波大)、堤 純(編集委員長、筑波大)

評 議 員：秋山千亜紀(麗澤大)、池庄司規江(茨城大)、池田真利子(筑波大)、伊藤徹哉(立正大)、岡村治(立正大)、兼子 純(愛媛大)、川瀬正樹(広島修道大)、木村昌司(茗溪学園)、久保倫子(筑波大)、呉羽正昭(筑波大)、駒木伸比古(愛知大)、篠原秀一(秋田大)、清水克志(筑波大)、杉本興運(東洋大)、須山 聡(駒澤大)、堤 純(筑波大)、杜 国慶(立教大)、中西僚太郎(筑波大)、中村理恵(高崎女子高)、仁平尊明(東京都立大)、林 琢也(北海道大)、平井 誠(神奈川大)、福本 拓(南山大)、藤永 豪(西南学院大)、松井圭介(筑波大)、三木一彦(文教大)、三橋浩志(文科省)、森本健弘(筑波大)、山下亜紀郎(筑波大)、山下宗利(佐賀大)、吉田道代(和

歌山大), 若本啓子(宇都宮大) 32名

<専門委員会>

庶務委員会：呉羽正昭(委員長), 秋山千亜紀(副委員長), 黒澤俊平, 佐藤大輔, 鈴木修斗, 中川紗智, 吉沢直

会計委員会：山下亜紀郎(委員長), 久保倫子(副委員長), 薄井 晴, 平 直也, 竹田一登

集会委員会：森本健弘(委員長), 青島光太郎, 大沼勇斗, 川添 航, 坂本優紀, 佐野浩彬, Mao Yaqian, 矢ヶ崎太洋, 劉 逸飛

編集委員会：堤 純(委員長), 須山 聡(副委員長), 橋本暁子(副委員長), 飯塚 遼, 井口 梓, 石井久生, 伊藤徹哉, 大石貴之, 片岡博美, 久木元美琴, 小島大輔, 佐藤大祐, 田中耕市, 淡野寧彦, 仁平尊明, 橋本 操, 林 琢也, 平井 誠, 福本 拓, 藤田和史, 山本健太, 吉田道代

(書記)：鹿嶋 航

学会賞選考委員会：(※2024年7月1日~2025年6月30日, 1年間)

岩間信之(委員長), 中村周作, 仁平尊明, 横山 智

## 6. その他

とくになし。

以上で議事を終了し, 若本議長による書記と議長の解任が行われた後, 呉羽庶務委員長の閉会の辞をもって, 総会は終了した。

## 【大会報告】

第17回大会(2024年6月29日, 筑波大学春日エリア7A 棟1階105教室において対面形式で開催, 出席者71名)

### ・一般発表

(\*は共同発表の登壇者)

豊田紘子(千葉経済大)：近代における日本産柑橘の北米輸出と植物防疫への対応—病害虫付着果・着色不良果の管理・排除—

廣部恒忠(明海大)：都市における商業集積及び商圈形成に係る複合要因—都市交通と消費者行動に着目して

薄井 晴(筑波大・院)：出生力の地域差の解釈における都市圏設定基準の問題点

井上 孝\*(青山学院大)・井上 希(国立社会保障・人口問題研究所)：小地域別将来推計人口に基づく日本の高齢化段階論

渡邊敬逸\*(愛媛大)・井口 梓(愛媛大)・村上恭通(愛媛大)：人口減少下における文化財分布の空間的特徴とその課題

・ポスター発表

五十嵐純護 (筑波大・院) : 千葉県香取市佐原地区の歴史的町並みをめぐるまちづくり—小野川の景観変化に着目して

Arachchi J. A. D. T. J. (University of Kelaniya) , Jayarathne M\*. (University of Tsukuba) : A study of Identification on flood vulnerable area in Kalu-gaga River with Spatial reference to Rathnapura Municipality (MC) Area

市川竣介 (筑波大・院) : 避難阻害要因を踏まえた水害の人的リスクの把握手法—多摩川流域大田区を事例に—

上土井颯 (筑波大・院) : 公共土木事業の供給システムにみる空間構造—群馬県明和町を事例に—

関 和希 (筑波大・院) : アニメファンのコミュニティ形成からみる聖地巡礼観光の継続性

田中 響 (筑波大・院) : 京浜地域における大規模土地利用転換—神奈川県横浜市・川崎市を事例に—

植山隆斗 (筑波大・院) : 千葉県八千代市における保育サービスの需給バランスと利用者の行動

高見澤真道 (筑波大・院) : 農村地域における太陽光発電事業をめぐる合意形成について—長野県佐久市を事例に—

成田脩希 (筑波大・院) : 茶業近代化に伴う習俗の変容—宇治市における県祭を事例として—

齊藤未宇 (筑波大・院) : つくばアートサイクルプロジェクトにおけるサイト・スペシフィック・アートの成立要因についての考察

志村龍太 (筑波大・院) : 山間地域における耕作放棄地の拡大と持続的農地利用—長野県下伊那郡売木村の営農維持活動を事例に—

**【地理空間学会会則】**

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL : <http://jags.ne.jp/>

**【編集委員会からのお知らせ】**

2024年4月～2024年9月：未受理原稿および左記期間に投稿された4本の原稿について閲読結果をもとに検討した結果、特別寄稿1編，リサーチ・ペーパー2編，地理資料1編を受理した。

**【編集委員会からの J-Stage 公開のお知らせ】**

機関誌『地理空間』の Web 上での公開方法が変更になりました。「論説」や「リサーチ・ペーパー」などの論文はすべて J-Stage 上 (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jags/-char/ja>) で公開することになりました。なお、次号の掲載までの「最新号」については、各論文の要旨のみ地理空間学会ホームページ上 (<http://jags.ne.jp/>) で公開し、最新号の刊行と同時に、前号の全文を J-Stage 上で公開いたします。なお、書評や学会記事、例会要旨などについては、引き続き、本学会ホームページ上でのみ公開いたします。

### 【次号以降の投稿について】

第18巻1号は、2025年6月20日の発行を予定しております。第18巻1号の原稿については随時受け付けておりますが、第18巻1号に掲載されるには、2025年3月末までに受理が出ている必要があります。内容は最新の論争から時事性、トピック性の高いテーマ、丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員皆様の活発な寄稿をお待ちしております。

本学会の活動を幅広く認知してもらうために、会員の皆様の大学研究室や大学・高校の図書館におきまして、会誌『地理空間』の定期購読を是非ご検討のほどお願いいたします。ご購入いただける場合には、編集委員会 (geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp) までお知らせください。

### 【オンライン版（電子版）の3号の刊行について】

2016年度総会において、現行の年2号の紙媒体での印刷・発行に加え、オンライン版（電子版）の3号（年度末発行）を新たに発行することが決まり、すでに9巻3号（2017年3月）、10巻3号（2018年3月）、11巻3号（2019年3月）、12巻3号（2020年3月）、13巻3号（2021年3月）、14巻3号（2022年3月）、15巻3号（2023年3月）、16巻3号（2024年3月）を刊行しました (<https://jags.ne.jp/archives/2201>)。オンライン版（電子版）の3号の概要は以下の通りです。

- ・シンポジウム報告を含む特集論文は、各巻3号に掲載する。
- ・特集論文の企画代表者は学会員に限る。ただし、各論文の著者については、会員か非会員かは問わない。
- ・特集論文の企画は、毎年度9月末日までに企画代表者が事務局（編集委員会）へ申し出る。
- ・企画代表者は、編集委員会にゲストエディターとして加わり、当該特集論文の査読・編集に携わる。
- ・特集論文の掲載・発行にかかる実費相当額（校正費用とPDF作成費を合わせた1ページ当たりの実費：約4,000～5,000円）は、企画代表者（または論文の著者）が負担する。
- ・各巻3号は、発行後速やかにJ-Stage上 (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jags/-char/ja>) で公開する。紙媒体の1、2号は、これまで発行から半年後に学会HPで公開していたが、これを変更し次号発行時に学会HPで公開する。すなわち、各巻1号は2号発行時、2号は3号発行時に学会HPで公開する。
- ・3号の印刷物（有償）を希望する会員は、個別に事務局へ相談する。

### 【投稿規程 & 執筆要項】

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL : <http://jags.ne.jp/>

### 【新入会員】（2024年5月23日～2024年11月26日）

中谷年成（立命館大）

Elahabade Gedara Mangala Jayarathne（筑波大・院）

（会員数：385名、2024年11月26日現在）